

海上の杜技術士会 第23回 技術研修会

講 演 要 旨

令和6年 6月 1日

於：愛知工業大学
自由ヶ丘キャンパス 2階 202 講義室

海上の杜技術士会



海上の杜技術士会 第23回 技術研修会 次第

(令和6年6月1日 於：愛知工業大学自由ヶ丘キャンパス2階202講義室)

13:00～ 13:30 総会・技術研修会受付

14:15～ 14:20 技術研修会開会の挨拶 山里 剛史 会員 (S54卒)

14:20～ 15:20 「瑞宝中授章」叙勲記念特別講演
演 題 みんなの好きな数学
講 師 四俵 正俊 先生
所 属 愛知工業大学工学部土木工学科 名誉教授

15:20～ 15:30 講演質疑応答

15:30～ 15:40 休 憩

15:40～ 16:40 会 員 講 演
演 題 私の人生ピークだ今が
私の人生ピークだ今が 月の二十日はボランティア
俚謡(7・7・7・5の定型詩)
講 師 大野 良蔵 会員 (S44卒)
所 属 株式会社興栄コンサルタント

16:40～ 16:50 講演質疑応答

16:50～ 17:00 理事あいさつ 星野 正彦 会員 (S58卒)

※13:30～14:00まで「海上の杜技術士会 第14回総会」となります。



土木学会継続教育プログラム
認定番号：JSCE24-0580(2.4単位)

「瑞宝中授章」叙勲記念特別講演
みんなの好きな数学

講演者 四俵 正俊 先生

(1) 講演要旨

数学は論理学である、とも言える。

これに対し、数学を学ぶ我々人間の脳は全く論理的にできていない。

このことを踏まえて、高校生に微積分をどうイメージさせれば良いのか、について考える。

(2) 講師 Profile

氏 名：四俵 正俊（しだわら まさとし）

職 歴 等：1961年3月 広島県呉宮原高等学校 卒業
1961年4月 東京大学理科一類 入学
1966年3月 東京大学工学部土木工学科 卒業
1966年4月 東京工業大学工学部土木工学科 助手
1974年3月 工学博士（東京大学）
1974年3月 愛知工業大学工学部土木工学科 講師
1975年4月 愛知工業大学工学部土木工学科 助教授
1981年10月 メキシコ国立自治大学 交換研究員
1991年3月 愛知工業大学工学部土木工学科 教授
2013年3月 愛知工業大学工学部土木工学科 退職
2013年7月 愛知工業大学 名誉教授
現在に至る

委員等経歴：矢作川流域委員会 委員
土木学会副会長
土木学会中部支部商議員
瑞宝中授章(令和4年11月授与)

著 書 等：「水理学」 技報堂出版
「よくわかる構造力学ノート」 技報堂出版

会 員 講 演

私の人生ピークだ今が

—私の人生ピークだ今が 月の二十日はボランティア

俚諺(7・7・7・5の定型詩)—

講演者 大野 良蔵 会員

(1) 講演要旨

わたくしの技術者人生は、名古屋市の管きょ設計と処理場計画から始まりました。当時、高度成長まっただ中、「下水道法の一部改正」により「公共用水域の水質保全に資する責務」が課せられ、その後の下水道整備の方向が決められた訳です。特に伊勢湾・三河湾など「赤潮」の発生があり、海からの下水道の評価が必要となりました。調査は、1980（昭和55年度）から閉鎖性水域の下水道計画の基礎調査が開始され、1997（平成8年度）高度処理基本計画として完結しました。

その後、廃棄物処理計画と処分場整備に邁進し、齢50代早々に関ヶ原の関を越え大阪へ、また違う「文化」の洗礼を受け無事帰還。

縁ありて木曾川を越え、現在、興栄コンサルタント在籍、そしてとうとう今、技術者人生50年のピークを迎えました。

(2) 講師 Profile

氏 名：大野 良蔵（おおの りょうぞう）

職 歴 等：1969年3月 愛知工業大学 工学部土木工学科 卒業
1969年4月 中日本コンサルタント株式会社 入社
2008年10月 株式会社興栄コンサルタント 入社
現在に至る

委員等経歴：コミュニティ・プラント構造指針改定 協力員
し尿処理施設構造指針・解説改訂 協力員
環境影響評価書（廃棄物セクター）指針作成
検討委員会委員・海外経済協力基金
ベトナム国FD調査 協力準備調査参加 他

資 格：技術士(上下水道部門、衛生工学部門)